令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工　業	科目	電気回路	単位数	3	学年	1	科	電気科

1、科目の目標

電気に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる

2、使用教科書・副教材

教科書　電気回路１（オーム社）

3、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	＜電気回路の要素＞ ・電流と電圧 ・電気抵抗 ＜直流回路＞ ・直流回路と計算 ・電流の働き ・電気の各種作用 ・電流の働き	中間考査 期末考査	３０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	・電気の各種作用 ＜静電現象と静電容量＞ ・静電気の性質 ・静電容量とコンデンサ ・絶縁破壊と放電現象 ・＜インダクタンスと磁気現象＞ ・磁界と磁束 ・電流のつくる磁界 ・磁性体と磁気回路	中間考査 期末考査	４２
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	・電磁力 ・電磁誘導作用 ・自己誘導と自己インダクタンス ・相互誘導と相互インダクタンス ・インダクタンスの合成とコイルに蓄えられるエネルギー	 学年末考査	３３

4、評価の方法

学習評価	学習の成果	定期テストの得点を評価する。	
		Google Classroom を利用した課題への取り組み状況と、成果を評価する。	
		ノートおよび学習ファイルを提出し、その内容を評価する。	
	観点別評価	観点⑴：知識・技能を評価する。	観点別評価の内容は、別紙：「評価の観点の趣旨」E7 による。
		観点⑵：思考・判断・表現を評価する。	
		観点⑶：主体的に学習に取り組む態度を評価する。	

5、学習にあたっての注意とアドバイス

授業中に集中して取り組み、疑問点については早めに解決するように配慮する。
自学自習、基礎計算力を大切にする。ノートの取り方、整理等の努力ある姿勢も評価する。
協働学習を通じて対話的な学びを行い、主体的に課題解決できる能力を身に付ける。